

スーパーグローバルハイスクール（平成27年度指定）の中間評価について

中間評価の結果について（平成29年9月29日）

平成27年度に指定した56校について、SGH企画評価会議協力者による中間評価を行い、評価結果をとりまとめましたので公表します。

○「優れた取組状況であり、研究開発のねらいの達成が見込まれ、更なる発展が期待される。」（4校）

<学校名>

名古屋大学教育学部附属中・高等学校
京都府立鳥羽高等学校
関西創価高等学校
愛媛大学附属高等学校

○「これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が可能と判断される。」（19校）

<学校名>

秋田県立秋田南高等学校
千葉県立成田国際高等学校
富士見丘中学高等学校
大阪府立豊中高等学校
兵庫県立兵庫高等学校
島根県立隠岐島前高等学校
広島大学附属福山中・高等学校
愛媛県立宇和島南中等教育学校
長崎県立長崎東高等学校
鹿児島県立甲南高等学校
福島県立ふたば未来学園高等学校
東京学芸大学附属国際中等教育学校
大阪教育大学附属高等学校平野校舎
関西学院千里国際高等部
兵庫県立国際高等学校
岡山学芸館高等学校
広島県立広島中学校・広島高等学校
高知県立高知西高等学校
宮崎県立宮崎大宮高等学校

○「これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成がおおむね可能と判断されるものの、併せて取組改善の努力も求められる。」（17校）

<学校名>

立命館慶祥中学校・高等学校
仙台白百合学園中学・高等学校
法政大学女子高等学校
石川県立金沢泉丘高等学校
愛知県立時習館高等学校
京都学園高等学校
大阪府立千里高等学校
神戸大学附属中等教育学校
中村学園女子高等学校
岩手県立盛岡第一高等学校
横浜市立南高等学校
新潟県立国際情報高等学校
長野県上田高等学校
中部大学春日丘高等学校
同志社国際高等学校
清風南海高等学校
岡山県立岡山操山中学校・高等学校

○「研究開発の狙いを達成するには、助言等を考慮し、一層努力することが必要と判断される。」（12校）

<学校名>

札幌日本大学高等学校
青山学院高等部
大阪府立能勢高等学校
兵庫県立伊丹高等学校
福岡県立鞍手高等学校
福岡双葉中学校・高等学校
東京工業大学附属科学技術高等学校
京都市立西京高等学校
大阪府立泉北高等学校
鳥取県立鳥取西高等学校
福岡県立京都高等学校
明治学園中学校・高等学校

○「このままでは研究開発のねらいを達成することは難しいと思われるので、助言等に留意し、当初計画の変更等の対応が必要と判断される。」(3校)

<学校名>

埼玉県立不動岡高等学校

早稲田大学本庄高等学院

千葉県立松尾高等学校

○「現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても研究開発のねらいの達成は困難であり、スーパーグローバルハイスクールの趣旨及び事業目的に反し、又は沿わないと思われるので、経費の大幅な減額又は指定の解除が適当と判断される。」(1校)

<学校名>

啓明学院中学校・高等学校

愛媛大学附属高等学校 中間評価講評

○全生徒を対象として、ローカル・グローバル・グローバルな一貫性のあるプログラムを開発し、段階的にグローバル能力を育成する工夫に富む精力的な取組に加え、成果を客観的なデータを踏まえて分析している点は極めて高く評価できる。

○事業の取組に沿った生徒の育成、教員組織の構成が効果的に働いている要因として、成果と課題を常に明らかにし次への取組を明確にしていること、PDCAサイクルを基準とした指導の工夫・改善、アクティブ・ラーニングへの指導法転換が挙げられ、極めて高く評価できる。

○特に愛媛大学との連携が密で、大学教員の出講や単位取得のみならず、国際交流提携の支援、共同研究が進められている点は高く評価できる。また、生徒による成果発表に加え、教員による研究発表・論文発表なども積極的に行われており、成果の普及についての高い意識が伺え持続可能なプログラム設計がおおいに期待できる。

(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/09/1396726.htm)

